

みんなで考えよう 将来の「土地利用」

土地利用計画策定 市民会議ニュースレター

～ 第 11 号 ～

第15回 市民会議

日時 平成19年2月23日(金) 10:00～12:00

場所 保健センター 3階会議室

参加 市民会議委員18名、土地利用計画特別委員会委員10名、コーディネーター、事務局

これまでの市民会議で、飯田市の現状や将来について話し合いを行ないながら、土地利用に関する条例や計画について一通り協議してきました。そこで今回は区切りとして、市民会議の委員の皆さんと市議会の土地利用計画特別委員会の委員の皆さんによる意見交換を行いました。

ホームページアドレス <http://www.city.iida.nagano.jp/kikaku/tochikeikaku/>

：市民会議委員の意見

：土地利用計画特別委員会委員の意見

市民会議について

- ◆市民会議では自由に話し合うことができよかった。
- ◆市民会議で検討してきたことは非常に良かった。
- ◆前にも土地利用の計画はあったが守られずスプロール化していった。今度の計画では土地は皆のもので、それを皆で活用するものと謳ってくれたことはうれしかったが、検討が進んでいくと、少し小さくなってきたかなと心配もしている。

今後の議会活動の参考となる話があってありがたい。委員それぞれに意見を述べられて、市民参加が生きてきたのだと思う。市民が十分意見を言える場所があり、協働のできるかたちがあり、ありがたいことだと思う。

中心市街地について

- ◆飯田下伊那は客の目線で物事を考えていない。市街地活性化の国の施策に関し市は鈍感なのではないか。大臣官房で歩いて暮らせるまち、賑わいのあるまちが謳われている。これを実現するには、交通体系や道路のことも考えなければいけない。例えば、通勤のための道路、工場へ繋がる道路、気軽に散歩できる歩道、商業施設を歩いて回れること、りんご並木・桜並木のような地域のシンボルロードの整備など。
- ◆りんご並木は、わい化の木を見たら、よそから来た人たちはがっかりするのではないか。狙いを観光に置くのか、教育に置くのかはっきりさせるべき。
- ◆飯田の道路には歩道もない。縦道(東西方向)は一方通行にして1車線は駐車場にする、ポケットパークをつくり緑を増やすなどしないと人が集まらないのではないか。高齢者も安全に歩けない。
- ◆めがね橋から飯田駅までの中央公園を含め再整備し、もう一度丘の上を活性化してもらいたい。
- ◆飯伊の中心である丘の上が活気づくとまちの顔ができる。しかし、中心市街地の商業はどうやって挽回するのか厳しい状況である。
- ◆夜8:30頃に丘の上を歩いたが、知久町の下の方と駅前に行くくらい人がいた程度。治安面での印象もよくない。その帰りにアップルロードを通ったら駐車場がいっぱいだった。この状況からどうやって挽回するのか商店街へのアドバイスをお願いしたい。

都市計画はこれまで行政が決めていたものがボトムアップに変わり、法も改正された。中心市街地を今後どうするかという議論の中で、必ずしも商店街である必然性はない。商店街は他地区にもあり、中心市街地のみでとらえる必要はない。まず都市像を考えなければならない。

農地・森林、農林業について

- ◆飯田市の特長は農地と里山。景観や、農林業の体験などのため、不便があっても維持していくことが大切だと思う。
- ◆飯田市の山と緑は多いが農地は少ない。農地は食料安保、域産域消のためまずは保全を考えたい。多面的機能の役割からも大事である。
- ◆山は資源として、また多面的機能の面からも保全すべき。
- ◆農業でもこれからの方針を打ち出してほしい。
- ◆農業、林業については、経済と結びついた土地利用をお願いしたい。
- ◆空きアパート、空き家が目立つ。人口が減少する中で、農地を宅地にするのは時代に合わない。
- ◆最近では、鼎一色と知久町の地価が一緒になってきた。農家が農地を処分する方向に行っているが、アパートをみても部屋が空いている。
- ◆不在地主の農地を隣接耕作者が簡単に取得することはできないか。農地の面積が5反歩にならなくても取得できるような方法をお願いしたい。
- ◆上久堅では中山間地域等直接支払の交付金が相当の金額となり、具体的に予算付けして実行している。交付金を貯めて農業法人にしようかと考えているが、現在70歳くらいの方が農業を担っており5年後には耕作できないおそれがある。不在地主も多く、農地が荒れても気にしない。中山間の交付金がなくなった場合、どうなるか恐ろしい。

これからの農業に関しては、市の基幹産業として最大限残したい。

中心市街地が繁栄したのは周辺の農業が栄えたからである。農業だけでなく農ある暮らしで地域再生を考えたい。そのためには農の指導者が必要であり、最終的には後継者、人づくりに知恵を出さないと地域づくりはできない。

年間40haの農地が荒廃化し、年間200戸が離農していく。農業者の高齢化が進む背景の中で土地をどうするか。全ての産業に関わることで奥が深い課題が提起されていると思う。皆で話し合っただけで進めていきたい。

欠席された市民会議の委員さんから、次のような意見が寄せられました

- ◆龍江を含む竜東地域は農業振興地域であるが、土地利用基本方針(試案)では引き続き農業振興地域として土地利用の促進を図る方針であり、地域の状況変化は望めないと残念に思った。
- ◆龍江地区では加速する少子化、農業後継者(担い手)不足で「農」と「土地管理」に対する地域力は低下の一途である。
遊休地、荒廃地は山間地から宅地周辺にまで押し寄せてきており、自治会としても現状調査し対策を検討したが、現在の法令、担い手不足の下では抜本的な解決策はなく、荒地は拡大するばかりである。また、そうした土地にも「住環境」に良い土地があっても、農振除外は極めて困難。
- ◆「白地」を見直し農振農用地に編入する方針であるが、長い将来を見据えて、それぞれの地域の実体を踏まえた「土地の保全・管理」ができる土地利用計画を切に望む。

少子高齢化、若者定住などについて

- ◆竜東地区は、これからどうなるのか不安が大きい。民営化された保育園は順調だが、3～4年後にはどうなるか。小中学校がなくなるのではという不安も強い。
- ◆上久堅は、過疎化、高齢化、少子化が3点セットで進んでいる。
- ◆橋北地区では高齢化が進み空き家が増えている。介護マップを作成したところ、65歳以上の高齢者と身障者が多い。1人を援助するのに3人が必要といわれているが支援者が足りない。モータリゼーションの進行により若者が出ていく傾向が30年続いている。地元に戻り住む方法、情報を行政で集めて、帰郷の一助になるようなこと、2世帯住宅で暮らせるようなことをお願いしたい。
- ◆リバースモーゲージ(自宅を担保にして市から生活資金を借り、亡くなったときには土地、建物を処分して活かしてもらう)がいい方法ではないかと思う。
- ◆飯田下伊那は所得水準が低く魅力ある職場も少ない。若者定住のために、それべしの企業を誘致してもらいたい。





景観、緑などについて

- ◆道路の法面の緑化も大事ではないか。川路地区でも三遠南信自動車道の法に植樹する木について提案しようとしたが時期が遅く間に合わなかった。法面の植樹は観光資源にもなるのでは。
- ◆道路の法面に木が生えて道まで迫っている。道路脇の竹藪を整理するのに上久堅で10年かかった。道路の縁をどうするかは大きな問題である。
- ◆山が荒れ、また荒れていないにしても景観上よくないものが増えている。よい景観を保全するよう議会にもお願いしたい。
- ◆景観育成基準で、建物の高さの最高限度として中心市街地は31m（10階建て程度）とされている。ここ数年の間に大きな建物ができ、風越山が見えなくなったという声も聞く。消防設備に対する市の財政負担を考えると、基準を5～6階建てとすべきでは。景観の面からも、風越山を飯田市のシンボルとして考えていきたいと思う。
- ◆上村は、川があまり利用されておらず、川に親しむ施設にしたいが、手間も人も少ない中では計画づくりもたいへん。援助してもらえそうな施策をお願いしたい。
- ◆IT関係なのか、電柱の線が太くなってきたように思う。高さは地上から5mあるというが、車が引っかかないか心配。なんらかの規制をしてもらいたい。



交通について

- ◆H15年に飯田市が実施した基礎調査によれば、多くの市民が「働く場所が少ない」、「交通が不便」であると感じている。土地利用の中にも位置づけて、土地利用のほかに施策の中で検討してほしい。
- ◆市では自立度70%に取り組んでいるが、交通の不便さはどうなっているのか。基本方針でもモータリゼーションに関する記述があり、ソフト面を解決するなら福祉バスなどいろいろあるだろうが、ハード面での整備（幹線道路、生活道路、公共交通）の充実が必要。天龍峡、天龍峡IC、中心市街地を結ぶ動脈となる道路は必要だと思う。
- ◆交通については、どんな考えで道路を造ってほしいのか、切り口を変えると見えてくるのではないかと。年齢別、性別、家族構成など細かいものも見えてくる。

防災について

- ◆橋南の避難場所は追手町小になっているが、地震のときに住民が入りきれぬか、建物自体は大丈夫なのか。橋南では組合で、どこに集合するかを決めている。組合単位ならお互いの顔が分かる。
- ◆震災時にはりんご庁舎など行政の拠点になる庁舎へ逃げ込むわけにはいかない。市民プール跡地は、地下タンク（飲料水、防火用水の貯留）プール、3～4階建くらいのコミュニティホールなどの高度利用が考えられない

その他

- ◆知久町で家賃が払えず、（白地の）鼎一色に来た人もいる。早く用途地域を指定して誘導してほしい。
- ◆天龍峡の第3セクター（温泉宿舎天龍峡）を市が買い取ることが決まったと報道されたが、夕張市の例にならないようお願いしたい。
- ◆天龍峡の観光客が少なくなったことが話題になっている。実際に観光バスの運転手、ガイドに天龍峡の良くないところを聞いてみると、1番目に挙がったのはトイレがないこと、次がバスを洗う場所がないこと、そして車内を掃除した後にゴミを出す場所がないことだった。そのため、観光のコースから外れてしまうのではないかと。それに対し、地元も観光協会も取り組みが不足しているのでは。高遠町では、桜の時期にはトイレの確保について対処していたと言っていた。天龍峡も高遠のような配慮をしてもらいたい。

今後の取り組みについて

- ◆これからは地域が重要な役割をもつ。これまでの検討では、それぞれの地域、立場からいろんな意見が出されておりとても勉強になった。
- ◆計画、条例については皆が話し合うことが重要で、地域でも話し合いの場に参加していきたい。
- ◆素晴らしい内容のものができたので、市、議会、地域で尊重して、各区まで情報が届くようこまめに周知してもらいたい。住民がこれら条例等を議論して、住民の意見をとり上げてほしい。
- ◆計画を円滑に進めるには、関係者の役割が明確にされ、それぞれが守っていくことが大切。土地所有者と行政が中心を成すが、計画を立派につくっても土地所有者の理解と協力がなければ進まない。条例では「施策に協力しなければならない」となっており、条例文での表現の仕方は難しいと思うが、もっと説得のある対応が必要だ。
- ◆表向きには素晴らしいものができた。市は、「口は出すが金は出さない」でも良いが、これからは地域へのアドバイスなど具体策をお願いしたい。
- ◆市の役割は「積極的にまちづくりを支援しなければならない」とあるが、どんなやり方にせよ実のある支援をお願いしたい。
- ◆今後は地域、市民の力が試される。どう意見を吸い上げて利害を調整し、将来を考えていくか。楽しみでもあるが、市民の参加意識を上げていかなければならない。有力者だけでなく住民の総意をまとめていくよう議員の皆さんにもお願いしたい。
- ◆土地利用は地区の話になるともっと難しくなる。税金のことも出てくる。議員の皆さんには見守りをお願いしたい。
- ◆開発等の届出があった場合、地域協議会に意見を聴くようになっている。地域協議会は、市の施策について意見を聴くだけであるから無償と聞いた。こうした組織の成り立ちや、年間どのくらい届出があるのかも検討の上結論づけてほしい。条例で決めれば地域はやらざるを得ない。地域協議会の取り組むべき本筋が変わってしまうおそれがある。
- ◆これからの施策のためには調査、アンケート等行いきめ細かく分析してもらいたい。
- ◆細かいアンケートを分析することは非常に大事。行政運営に反映させるともっと素晴らしいものになると思う。

私たちは土地がなければ暮らせない。市の将来を考え、活用方法、方向付けに参加いただき感謝申し上げます。今後も計画に参加していただきたい。地域に関わる重要性という発言があったが、自治基本条例にかなうものでありよかった。

土地利用は非常に深いもの。今後地域を含めて具体的な実施計画づくりに知恵を貸してもらいたい。産業、経済、環境、少子高齢化、幅広くご意見をいただき参考になった。

土地利用は市政の大きな柱を反映して進めていくものになる。土地は個人のものだが、公共の福祉優先についてどう雰囲気をつくっていくか、また都市計画の中の将来都市像が課題。

計画はできたので、これからはどう実現させていくか。地域づくりにはルール・法だけでなく、コミュニティ再生が欠かせない。それは難しいが、多くの人に参加して議論できるようになればよい。



〒395-8501 飯田市大久保町 2534 番地 Tel 22-4511 Fax 53-4511

連絡先 企画課土地利用計画係 内線 2 2 5 2

土地利用計画に関するご意見は、次のメールアドレスへお願いします

E-mail: ikikaku@city.iida.nagano.jp

ホームページアドレス「<http://www.city.iida.nagano.jp/kikaku/tochikeikaku/>」